



修了生の活躍事例

森田 愛さん（建築施工・C A D科若年者コース 平成31年2月修了）



1. ポリテクセンターの訓練を受講するきっかけ

仕事を辞め、キャリアチェンジを考えていた時に一級建築士の知り合いがC A Dを使って図面が描けるようになれば、就職先の選択肢が広がると言っていたことを思い出し、インターネットで調べたところポリテクセンター兵庫のことを知りました。早速、ハローワークでポリテクセンター兵庫の訓練内容について説明を受け、建築施工・C A D科で訓練を受けることに決めました。

2. ポリテクセンターでの訓練はいかがでしたか

建築施工・C A D科の訓練は、建築の基礎知識の理解に始まり、C A Dの操作方法の習得、図面作成、そして作成した図面を基に実際に実物大の建物を建てる流れになっています。実際に建物を建てることで、よく解らずに図面に描き込んでいた線が「なるほど、建物のあの部分を表していたのか！」と解り、より深く図面に描かれていることが理解できるようなカリキュラムになっています。C A Dが使えるようになると図面を速く描くことばかりにとらわれがちですが、それよりも建築の基礎知識と図面を理解する能力のほうが大切だということに気づきました（できればもう少しこれらのことに時間を費やしたかったです）。

3. 企業実習はいかがでしたか

現在の勤め先に企業実習に行き、実務の手伝いをしたところC A Dスキルが身に付いていることを実感できました。そして、今までに身に付けたことやポリテクセンター兵庫で習得した能力を評価していただいた結果、B I M（Building Information Modeling：より高度化した建築3次元C A Dのこと）オペレーターとして採用されました。企業実習には、色々な可能性があると思います。例えば、職人の仕事を体験してみても方向性を広げるのもよいと思いますが、就職したい会社があるのなら、その会社に行き、自分のスキルを実際に評価してもらおうのが良いと思います。

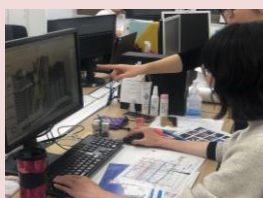
4. 訓練を検討されている方へのメッセージ

建築図面を描く仕事は、CADの基本操作はもちろんですが建物の構造や使われている材料などの基礎知識を知っていることが大変重要です。ポリテクセンター兵庫の建築施工・C A D科では、ただ単にC A Dの操作方法だけではなく、建築の基礎知識から実際の建物の建て方まで学べます。キャリアチェンジで建築の世界にチャレンジしたい方は、ぜひ受講してみることをオススメします。

就職先企業での活躍

森田さんの業務

B I Mモデルの作成を主な業務としています。モデルを作成するには、部品（要素：私の使っているB I Mではファミリと呼ばれています）が必要となりますが、それらの部品の作成がモデリングの要となります。部品がどのような機能や性能、性質を持ったものなのか、知らなければならぬので、街を歩いていてもついつい工事現場を仕事目線でジッと視てしまいます。自分が携わったものが実際に建つことにやりがいを感じているので、現場で働いている人たちを勝手に仲間だと思っています。



採用者の声

神戸支店 支店長 福田清孝 様



企業実習を受け入れることにより、森田さんのP Cスキルと理解力の高さを確認することができました。彼女ならB I M業務を任せることができそうだと判断し、採用に至りました。現在、大阪支店から遠隔で指示を受けB I M業務をメインに携わってくれています。企業実習付きの職業訓練は採用する側にとっても応募者の資質を確認する大変良いシステムだと思います。

株式会社池下設計（本社：東京都杉並区、神戸支店：兵庫県神戸市）

1973年の創業以来、施工図に特化した高い生産設計技術・ノウハウを蓄積し、業界のリーディングカンパニーとして多くの建造物の建築に貢献しています。さらに、最新の3DCADやBIMによる3Dモデリングを積極活用し、絶えず進化を繰り返している企業です。

（事業実績）

・あべのハルカス(大阪市阿倍野区) ・なんばスカイオ(大阪市中央区) ・中之島フェスティバルタワー・ウエスト(大阪市北区)他、全国の各種建築物の生産設計を担当